

## 第53号



NPO法人ユーアイやちよ  
〒276-0034  
八千代市八千代台西 8-16-1  
TEL.047-482-4109  
FAX.047-482-4179  
<http://www.16.ocn.ne.jp/~uiyatiyo/>

## 「介護サービス情報の公表」って？

## ・「介護サービス情報の公表」とは？

平成18年4月からスタートした制度で、利用者が介護サービスや事業所・施設を比較・検討して適切に選ぶための情報を提供する仕組みです。この「介護サービス情報公表システム」を使って、インターネットでいつでも誰でも気軽に情報を入手することができます。

介護保険制度は「利用者本位」「高齢者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」を基本理念としています。介護サービス情報の公表は、こうした介護保険制度の基本理念を現実のサービス利用場面において実現することを支援する仕組みです。

## ・どんな情報が公表されているの？

「基本情報」として事業所の名称、所在地、連絡先、サービスの提供実績、職種別の従業員数、施設・設備の状況、利用料金などです。また「調査情報」として利用者本位のサービスの提供の仕組み、従業員の教育・研修の状況、介護サービスに関するマニュアルの有無、サービス提供内容の管理の有無などです。（以上、千葉県のホームページとパンフレットより抜粋）



- ・この情報はインターネットの「介護サービス情報 千葉県」で検索できます。また、ユーアイやちよの情報も公表されています。

## 地域活動報告



ローズ広場での展示ブースの様子

やちよ市民活動サポートセンターまつり「こんにちは「わ」！ふれあいまつり」(11/23 イオン緑ヶ丘ショッピングセンター)に参加し、ユーアイやちよのボランティア部門のふれあいサロン、語らいパートナー、認知症サポーター養成キャラバン活動を紹介し、パネル展示、折り紙実演、PRをしました。また、さまざまな形で社会貢献活動を行っている団体と交流を図ることができました。ボランティア参加 8名

## 医学の基礎知識 ～居宅介護支援とホームヘルプサービスに必要なものとして～

7月18日定例研修 大和田訪問看護ステーション所長 大河内順子氏

私たちヘルパーに必要な医学の基礎知識をご講演いただきました。訪問看護サービスから見える在宅医療の現状、在宅高齢者への対応や連携などについてお聞きしました。ヘルパーとして、できるだけ幅広い医療に関する知識を習得できるよう、これからも務めていきたいですね。

### ～参加者の感想～

- ・ 訪問先では常に気づきの心と目でケアをすることやいつもとちがう変化を見つける目を持つ必要があること、また無理強いせず、そのままドクターに報告することなどを学びました。
- ・ 自己判断で行動を起こさず、家族がいれば、家族の判断にゆだねることや、責任問題が多いので、そのところを十分に気をつける必要性を感じた
- ・ 看護は医学的処置を含めた療養上の支援を行うが、介護は医療的判断を含まないことを学んだ。



## 認知症の人とご家族へのより良い対応のために

9月19日定例研修 認知症の人と家族の会 植松多恵子氏

認知症になった方をどのように受け止め、家族の方も含めて、どのように接したらよいのか、長年の経験を持つ植松氏から貴重なお話をお聞きしました。「認知症の本人には自覚がない」は大きな間違いです。さまざまな感情は、普通の人と同じものを持っています。認知症という障害をできるかぎり理解し、さりげなく援助できる「人間杖」になれるように、関わるのが大切です。

### ～参加者の感想～

- ・ 認知症を支える介護の仕方、考え方、接する時の心構え等、勉強になりました。認知症の人への援助は、最後まで自分らしく、その人らしく生きられるよう、障害を理解し、さりげなく援助できるよう、暖かく見守りながらケア出来たらと思います。
- ・ 「言葉を発しない人も全身で情報を発している」とのご説明がありました。介護者として、受信力の感度をいかに保ち高めるかが、大きな課題だと痛感しています。「人間杖」のようにありたいと考えます。
- ・ 認知症の方には「記憶を引き出す」手助け、特に昔楽しかった時代のことを話しているときは、生き生きとしていると思います。さりげなく援助できる「人間杖」になれたらな～と思いました。



## 地域福祉とこれからの私たちの立ち位置

11月21日定例研修 千葉県たすけ合い連絡会代表 國生美南子氏

私たち(NPO)の住民参加型サービスの現状について國生さんは「介護保険制度ができ、利用者は利用しやすくなり、介護を担う人材も増えてきました。しかし社会を構成する一員として、双方向の関係を大切にしていた住民参加型のサービスだったはずが、一方的な支援になったり、利用者も当然の権利としてそれを要求する関係は、「参加型として」つくろうとしてきたものを失いかけているのではないかと、て憂慮されていました。そして、“たすけ合いの会ふきのとう”での、制度ではできない、在宅助け合いサービスの内容について、お話がありました。 椎名

### ～参加者の感想～

・お話しでは、介護保険で助け合いを支えてるとは感じられず(時間数から見ても)助け合いが大黒柱で支柱が介護保険と思いました。國生さんの“理念・人柄”がすばらしいので、20数年も「たすけあいのふきのとう」であると実感! 利用者の助けてほしいのSOSにすぐ対応できる・・・すばらしいと思いました。

・尊厳 最後まで普通の市民でいたいというこだわりやその人の精神的な生活や文化的な生活をささえるには、制度によるサービスでは限界がある。・・・

尊厳ある暮らしの大事な要素は家庭や地域の中に居場所がある。居場所とは、人間らしさが快復する、周りの関係やつながり、地域社会との関係やつながり、地域社会との関係が作られ快復する人と人との関係。すべての人々との関わる活動を大切に継続しよう・・・経験を踏まえたお話がわかり易くためになりました。

### 笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～



菊池 尚さん

(1)ユーアイやちよに入会してどのくらい? 約8年半

(2)好きな言葉は? 誠、感謝

(3)仕事で心がけていることは? 体調維持、安全運転(トラブルを起こさない)、笑顔

(4)利用者さんとの思い出は? 心に残っている言葉など? 解らないことは聞けば良いよ。かみさんを大事にな。

(5)仕事以外で楽しいことは? スポーツクラブ運動、盆栽いじり・鑑賞、読書

次回のヘルパーさんをご紹介ください 松田さん

## 行事報告

- 21年 7/18 定例会 研修「ヘルパー、ケアマネに必要な医療知識」  
講師：大和田訪問看護ST所長 大河内順子氏
- 7/30、31 新任職員研修（千葉県社会福祉センター） 芳賀
- 8/6 介護のためのコミュニケーション術（介護労働安全センター） 椎名
- 8/27、28 提供責任者研修（介護労働安全センター） 生貝
- 9/19 定例会 研修「認知症の方へのより良い対応」  
講師：認知症の人と家族の会代表 植松多恵子氏
- 9/17 語らいパートナーの会 定例勉強会
- 9/27 星数フォーラム「社会企業家・地域活動家の集い」 山根
- 10/17 定例会 研修「法令順守、プライバシー保護、事故防止と緊急時対応」  
『介護サービス情報の公表』の調査
- 11/6 難病患者などホームヘルプサービス研修（千葉県） 山田
- 11/19 語らいパートナーの会 定例勉強会
- 11/21 定例会 研修「地域福祉とこれからの私たちの立ち位置」國生美南子氏  
移動サービス従業者研修（部門別研修）
- 11/23 市民活動サポートセンターまつり イオン緑が丘 アゼリア・ローズ広場  
「スタッフあつまれ」 八千代市介護サービス事業者協議会主催
- 11/25 講演会「地域医療連携について」八千代医療センター外科教授 城谷典保氏
- 12/19 部門別研修（身体介護・コミュニケーション・調理実習）

## 行事予定

- 12/30～22年1/3 年末年始休業
- 1/16 新年会 エルムサロン
- 2/20 定例会 研修「事例検討」
- 3/20 定例会 研修「一年間の反省」または延期となっていた救急対応



### 編集後記

「ピンピンコロリが良い」という話をよく聞きます。寝たきりなど、人の世話にならずに、元気なまま死を迎えたいという意味だと思いますが、私はこの話にはちょっと疑問を持っています。世話が必要になるかどうかは、自分では決められないことです。この考え方を多くの人を持っていることを、介護が必要な方が知ったら、「自分は良くないと思われているのか？」（良いの反対は良くないだから）と悲しい思いをするのではないのでしょうか？ ピンピンコロリより、どんな状態になっても、あるがままを受け入れる準備をする方が、大切なことのように思うのですが？ 網干

ユーアイやちよ の あゆみ  
編集人 網干 発行人 桃井 哲朗